

教科名	地歴公民	科目名	日本史探究	学年	3年	単位数	4
教科書	高校日本史（山川出版社）		副教材	最新日本史図表（			

1 科目の目標

- ・我が国の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・古代から近世の日本の歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習について

- ①予習の仕方について：前もって、次回授業の教科書2ページ程度を読んでおきましょう。
- ②授業の受け方について：先生の説明をよく聞いて、最低限、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。ノートは板書事項を写すだけでなく、自分が大切だと思ったことは書き加えると良いでしょう。常に「なぜ・どうして」といった疑問をもって考える姿勢で授業を受けましょう。
- ③家庭学習の仕方について：授業中に疑問に思ったことなどは、自分なりに調べてみましょう。新聞・TVなどでニュースをチェックしましょう。過去の出来事（歴史）との因果関係を調べると現代の出来事がよく理解できます。歴史を扱った映画やテレビ番組、小説を見て、歴史背景の理解を深めましょう。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開	<ul style="list-style-type: none"> ・近世という新しい時代がどのように幕を開けたのか考察する。 ・国を統治する制度や外交秩序、人々が安定した生活を営み、生産・経済活動を送るしくみが、どのようにつくられたのか考察する。
	前期 期末	幕藩体制の動揺 近世から近代へ	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制が崩壊にいたる諸原因について考察する。 ・幕末の動乱の中で、諸勢力はどのような政治体制を求めたのか考察する。
後期	後期 中間	近代国家の成立 近代国家の展開と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> ・明治政府はどのような国を目指したのか、また、それが国際関係や地域社会にどのような変化をもたらしたのか考察する。 ・日本がどのような国際関係の中で行動したのか、また、新たにどのような国際関係を築いていったのか理解する。
	学年 末	恐慌と第二次世界大戦 現代の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、日本は戦争への道をたどらなければならなかったか、その理由について考察する。 ・国際社会が変貌をとげる中で、日本人々の生活はどのような変化をみせたのか考察する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近世・近代・現代の歴史事象を理解し、資料を正しく読み解くことができる。	歴史事象の背景、課題を把握し、考察したことを説明・議論することができる。	日本の近世・近代・現代の歴史に関心を持ち、現代の諸問題の解決に活かそうとしている。

5 評価方法

計 140時間（50分授業）

定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出課題、学習態度等によって総合的に行います。

知識・技能…50%、思考・判断・表現…40%、主体的に学習に取り組む態度…10%